

算数 小学校 第5学年

個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率	
	大問	小問	通番		考え方	表現・処理	知識・理解		
数と計算	①	1	1	小数×小数の計算をすることができる。		○		86.9	
		2	2	小数÷小数の計算をすることができる。		○		75.6	
		3	3	分母の等しい分数のひき算の計算をすることができる。		○		97.5	
	②	1	4	数のしくみがわかっている。			○	88.8	
		2	5	ある数の100倍の大きさの数を求めることができる。		○		84.0	
		3	6	ある数の1/100の大きさの数を求めることができる。		○		80.7	
	③	1	7	分数を小数で表す方法がわかっている。			○	80.9	
		2	8	小数と分数を数直線上に表し、大きさを比較することができる。		○		71.5	
	④	1	9	小数のかけ算でかける数と積の関係を考えることができる。	○			86.2	
		2	10	小数のかけ算でかける数と積の関係を考えることができる。	○			86.4	
		3	11	小数のかけ算でかける数とかけられる数、積の関係を考えることができる。	○			65.6	
	⑤	1	12	計算のきまりがわかっている。(領域は、数量関係)			○	74.2	
		2	13	計算のきまりを使って工夫して計算し、説明することができる。	○			81.7	
	量と測定	⑥	1	14	三角形の面積の求め方がわかっている。			○	72.7
			2	15	平行四辺形の面積の求め方がわかっている。			○	95.1
⑦		方法・式	16	図形の面積の求め方を考えることができる。	○			61.3	
図形	⑧	1	17	平行四角形の辺の長さや角の大きさのきまりがわかっている。			○	90.6	
		2	18	ひし形の対角線のきまりがわかっている。			○	90.9	
	⑨	角度	19	平行な直線とほかの直線との交わり方がわかっている。			○	85.0	
		直線	20	垂直な直線の意味がわかっている。			○	80.0	
	⑩	1	21	多角形の角の大きさの和の求め方がわかっている。			○	92.4	
2		22	多角形の角の大きさの和の求め方を考えることができる。	○			84.3		
数量関係	⑪	1	23	三角形の底辺と面積の関係を式で表すことができる。		○		30.0	
		2	24	三角形の底辺が増えていくときの、面積の変わり方を求めることができる。		○		74.4	
		3	25	数量の関係のきまりを使って考え、問題を解くことができる。	○			33.5	